



キャンパス／千葉県市川市 学生数／6,474人 設置者／学校法人千葉学園  
創立／1928年(1950年大学設置) 建学の理念／有用の学術と商業道德の涵養  
学部／商経・総合政策、サービス創造、人間社会  
大学院／政策、商学、会計ファイナンス  
THE日本大学ランクイング2025／201+位

## 社会人向け教育の例～専門職大学院会計ファイナンス研究科の概要

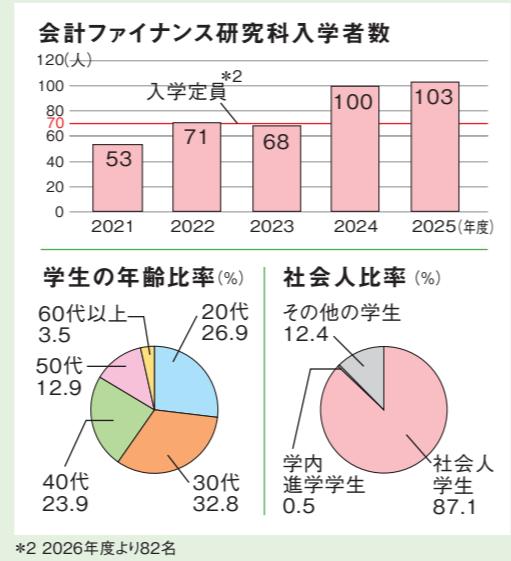
コース	めざす資格	得られる免除・権利	社会人に配慮した特徴
会計ファイナンス研究科	会計プロフェッショナル	・公認会計士 ・税理士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公認会計士短答式試験一部科目免除</li> <li>・税理士試験一部科目免除(会計系)</li> </ul>
	税務プロフェッショナル	・税理士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税理士試験一部科目免除(税法系)</li> <li>・公認会計士短答式試験一部科目免除*</li> </ul>
	ファイナンスプロフェッショナル	・FP資格(CFP <sup>®</sup> 、AFP)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CFP<sup>®</sup>受験資格・AFP認定登録権利</li> <li>・公認会計士短答式試験一部科目免除*</li> </ul>

※ 修了要件を超えた履修が必要

## 注目

## 市場拡大の追い風を最大限に生かす 会計ファイナンス研究科の募集戦略

この10年で公認会計士の出願者数は2倍強に増加。<sup>\*3</sup>会計大学院全体の入学者数も465人から732人に増加している。<sup>\*4</sup>この追い風を逃すまいと、同大学は募集戦略に注力。募集の主軸はWeb広報と修了生が協力する入試説明会だ。Web広報では、志望者がメリットベースの検索キーワードで情報を検索している点に注目し、「オンライン授業が充実」「給付金が利用可能」など、社会人が求めるメリットを前面に押し出した広告やWebページを制作。入試説明会は平日夜間のオンライン実施など、年間10回以上実施。修了生の修士論文を見せる、在学生・修了生が体験談を話すなど、「学びが見える」コンテンツを展開している。「オンライン履修ができると聞き入学した」「社会人の学びに配慮していることが進学の決め手だった」という修了生もいるように、こうした丁寧な広報や、学びの質と利便性の向上が功を奏し、入学者数は急増。学生の多様化も進んだ。「女性や地方在住者も増え、学生層に厚みが生まれたことにより、ゼミでの議論の質も高まっている」(戸塚課長)。



\*3 公認会計士・監査審査会調べ(2015年~2024年) \*4 文部科学省「学校基本統計」(2015年~2024年)

5 Between No.318

## CASE STUDY

利便性と質向上、初学者受け入れで  
社会人入学者増、定員増へ

# 千葉商科大学

人材需要拡大の市場に粘り強く取り組み、次年度定員拡大に至った千葉商科大学大学院会計ファイナンス研究科。背景と施策、今後のビジョンを聞く。



大学院課課長  
**戸塚 浩一郎**

とつかこういちろう●2005年に千葉商科大学入職。学部事務課課長、教育改革センター・オフィス課長、学長事務室室長を歴任し、2025年より現職。教育改革、学部の新設など、幅広い実務に携わってきた経験を生かし、大学院・社会人教育の企画・運営を担当。

## 職務直結型の土業に特化 研究が市場が見込める

募集と教育力向上の鍵は  
同窓生のネットワーク化

残念ながら、最新の市場調査結果では、現状の施策だけでは入学者数を確保できるのは長くて数年。次の打ち手を考えています。  
社会人学生獲得の課題は、出願へのハードルの高さです。社会人へのハードルの高さです。社会人学生獲得の課題は、出願までの検討時間が長期に

わたり、家庭や会社の都合で断念しやすい。かつて、学費は自腹のため、投資効果に向ける視線もシビアです。そこで本学では、大学院教育の「お試し」ができる制度として、科目等履修生制度や履修証明制度など、スマートステップで学びを体験できる機会を強化しています。本年度より、会計、租税法、経営・ファイナンスの3領域の正課科目を3つまとめた、オンラインプログラムも始めました。

今では1100人に上る同窓生を組織化すると共に、大学院教育を充実させていく展望もあります。すでに入試説明会では協力を仰いでおり、修了生による説得力ある体験談は受験生に大変人気です。今後は、付属高校や学部との接続を強化します。高・大・院をシステムレスにつなぎて実践的な会計教育を学部にも還元し、内部進学者を増やしたいと思います。

自己の武器として、どのようなスキルを身に付けるのかといった悩みは全社会人共通のものになつていくでしょう。そのとき、受け皿として輝く存在こそ大学院です。職業人として高い倫理観を持ち、社会の諸問題を解決する人材を育成する。この建学の精神にのつとり、修了生が生涯にわたつて活躍できるよう努めます。

\*1 対象は税務プロフェッショナルコース。論文指導、最終試験等は、市川キャンパスへの登校が必要

取材・文／鎌木康介 撮影／木藤富士夫